

こんな変化がみられたら動物病院を受診しましょう。

- 飲水量の大幅な増加
- トイレの回数が多い、またはトイレの時間が長くなった
- おしっこが出ない、またはトイレで鳴く
- トイレ以外での粗相そまうが増えた
- おなかや陰部をよくなる
- 口臭がひどくなった
- うんちが硬くなってきた
- やせてきた、毛並みが悪くなった



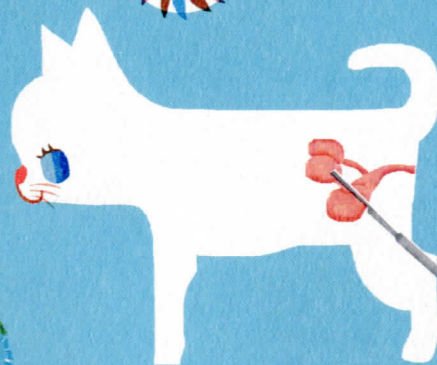
いつもと違うと思ったら、早めに動物病院を受診しましょう。
また、定期的に動物病院で健康診断を受けましょう。



ベリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン株式会社

SMT1412L02AM

ねこちゃんと腎臓のおはなし

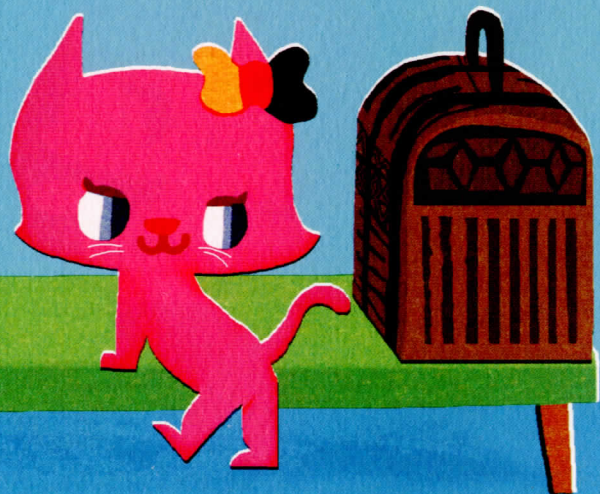


監修：渡邊俊文先生（麻布大学）

絵：山本まもる



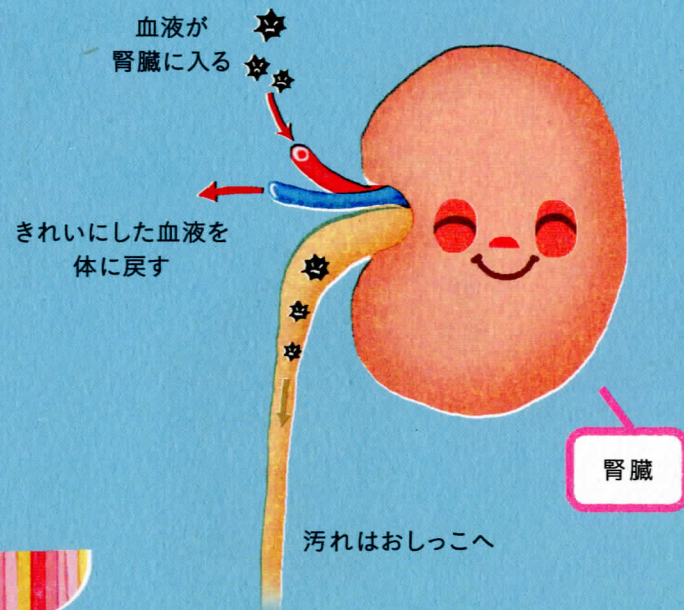
あたしはインゲ。よくおてんばって言われるけど、
元気なねこの女の子よ。
今日は、定期健診で動物病院に来たの。
獣医さんに、あたしたち、ねこの体のことで
とても大切なことを
たくさん教えてもらったから、
お話するわね。



じんぞう

「腎臓」って知っているかしら？

ねこも人間も、体のなかに左右合わせて2個持っているのよ。
血液から汚れを取り除く、とても大切な役割があるわ。



でも、うちのねこちゃんに、
こんな様子はないかしら？

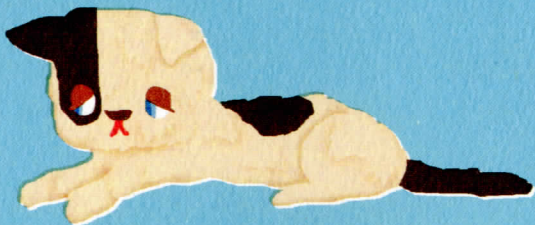
水をよく飲む



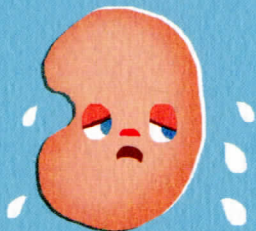
おしっこの回数や
量が増えた



やせてきた。毛並みが悪くなった



それは、もしかしたら腎臓の病気「慢性腎臓病（CKD）」に
かかっているのかもしれないわ。加齢による変化と
誤解されていることも多いのよ。

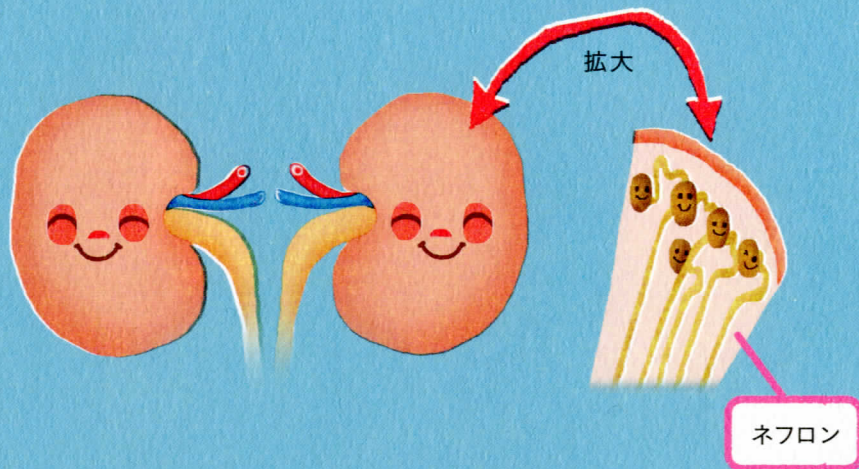


慢性腎臓病には多くの原因が考えられ、その特定は難しいのですが、

- 高齢
- 腎臓の炎症や腫瘍しゅよう
- 先天的な腎臓の異常
- 細菌やウイルスによる感染症
- 尿路結石症にょうろけつせき（腎臓、膀胱ぼうこうなどに結晶や石ができる）

などの場合、発症するリスクが高いと言われています。

慢性腎臓病は、
腎臓のなかで血液をろ過し、尿をつくる部分（ネフロン※）が
徐々に壊れていく病気なの。



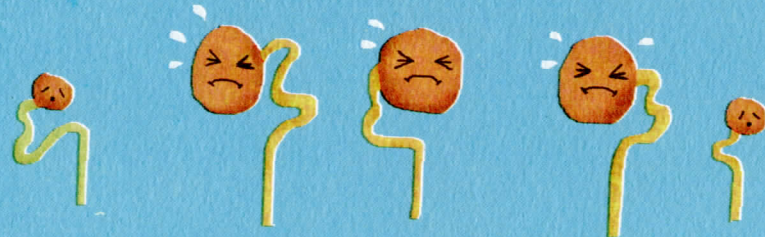
年をとるにつれて、多くのねこは腎臓の機能が
徐々に低下していきます。
慢性腎臓病は、とくに7歳齢以上になった中高齢のねこに
よくみられる病気とされています。
(若くして、この病気にかかってしまうねこもいます)

※ネフロン：腎臓のなかで血液をろ過、濃縮しておしこの元をつくる部分

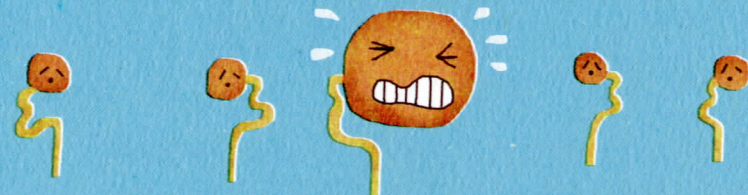
正常なねこの腎臓では、1つ当たり約20万個のネフロンが働いています。



ところが、一部のネフロンが壊れてしまうと、
ほかのネフロンがその分も無理して働こうとします。

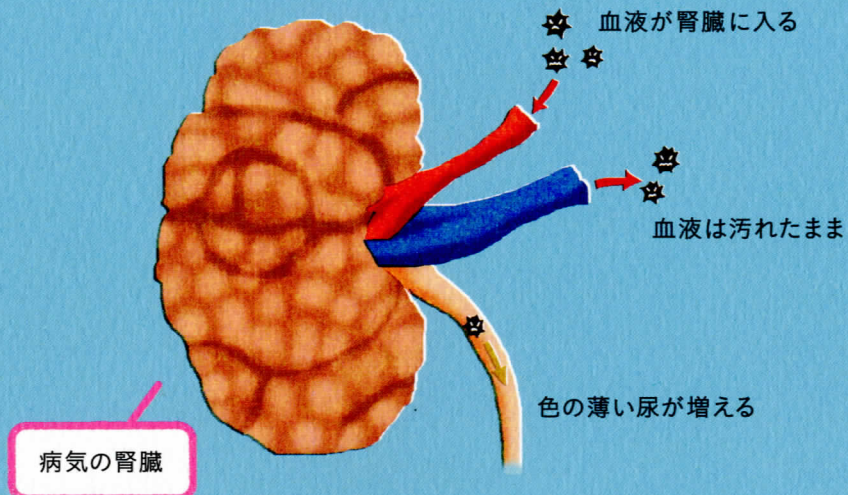


残されたネフロンに負担がかかりすぎ、さらに壊れるネフロンが増えます。



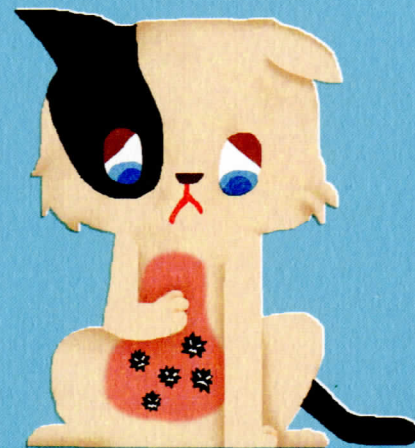
こうして慢性腎臓病では、
徐々に腎臓の機能が低下していってしまうの。

腎臓が病気になると、
こんなふうになってしまうの。



腎臓は血液の汚れをおしっこに出せなくなりますが、
それでも汚れを出そうと無理をして、
水のような色の薄いおしっこをたくさん出すようになります。

そうすると…



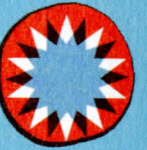
体のなかに汚れがたくさんたまって、
ねこは弱ってしまいます。

また、色の薄いおしっこをたくさん出すことで脱水状態になり、
うんちは硬くなることが多くなります。

貧血を起こしたり、
骨がもろくなり骨折しやすくなることもあります。

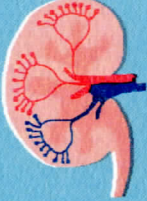
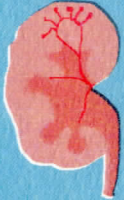
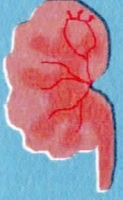







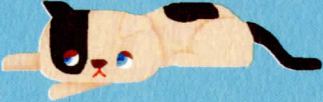



ねこの慢性腎臓病の進行と症状



腎臓病のステージ

参考: International Renal Interest Society, IRIS Staging Posters Cat, 2013

	Stage 1	Stage 2	Stage 3	Stage 4
腎臓の機能 (イメージ)	 <p>腎臓に残された機能 (イメージ)</p> <p>100%~33%</p>	 <p>腎臓に残された機能 (イメージ)</p> <p>33%~25%</p>	 <p>腎臓に残された機能 (イメージ)</p> <p>25%~10%</p>	 <p>腎臓に残された機能 (イメージ)</p> <p>10%以下</p>
症状	<p>元気</p> 	<p>水を飲む量が増える</p>  <p>おしっこが増える</p> 	<p>食欲低下</p>  <p>毛並みが悪くなる</p> 	<p>よく吐く</p>  <p>元気がない</p>  <p>貧血</p> 
検査	<p>尿検査、血液検査では異常を示さない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿比重、クレアチニン(Cre)値は正常 ・特殊検査(GFR)で腎臓の機能の低下がみられる 	<p>尿検査で異常を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尿比重<small>にょうひじゅう</small>が下がる ・蛋白尿<small>たんぱくにょう</small>が出る 	<p>血液検査で異常を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BUN<small>にょうそちっそ</small>(尿素窒素)やクレアチニン(Cre)の高値 ・体内のミネラルバランスの乱れ 	

実は、一度、慢性腎臓病にかかると、
完全に治すことはできないと言われているわ。
また、腎臓病を疑う症状が出てきたときには、
腎臓の機能の70%以上が失われていることも多いの。
さらにほうっておくと、徐々に腎臓の機能が失われてしまうから、
なるべく早く発見して、
治療を始めることがとても大事なの。

動物病院では、こんな検査をしてくれます。

尿検査 … 早期発見にとくに役立つ。
とくに7歳齢以上のねこは定期的に検査を受けましょう。

にょうひじゅう

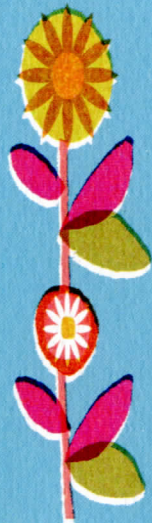
●尿比重：尿の濃い・薄いの判定

にょうたんぱく

●尿蛋白：腎臓の機能が低下すると尿に漏れ出す



Memo



血液検査 … 腎臓の機能の大半が失われると検査結果に異常があらわれる。

●BUN (にょうそちっそ 尿素窒素)：血液中の老廃物

●クレアチニン (Cre)：血液中の老廃物

●P (リン)：血液にあるミネラルの1つ

… 腎臓の働きが悪くなると血液中の値が高くなる

Memo

その他 … 血圧測定 (慢性腎臓病のねこの約3割に高血圧があるとされています)、
超音波検査、X線検査、眼底検査がんていなどを行うこともあります。

Memo

もし慢性腎臓病にかかってしまっても、
おくすりや食事の改善などで、
残された腎臓の機能を大切に守って
病気の進行を遅らせることもできるのよ。

まずは動物病院に
相談してね。



慢性腎臓病のケア

- 動物病院で処方されたおくすりを飲ませる
【アンジオテンシンII受容体阻害薬(ARB)、ACE阻害薬など】
- 腎臓病用の療法食や経口吸着剤を与える
- 輸液療法で水分を補う
- 新鮮な水を多く飲めるようにする(複数の水飲みボウルを置く、水は汚れる前に交換する)
- ねこが好むトイレを用意して膀胱炎を予防する
(清潔、落ち着いた環境、体格や年齢に合った大きさ、ねこの好みに合ったトイレ用砂をこまめに交換する)
- 日頃の排泄物(おしっこやうんち)チェック(量、回数、排泄の仕方)
- 適切な運動、肥満防止

慢性腎臓病のねこちゃんの飼い主さんへ

渡邊俊文先生 / 麻布大学附属動物病院 副病院長 腎・泌尿器科、臨床外科

ねこちゃんの腎臓病について簡単に説明しましたが、もっとも重要なことは腎臓が原因で食欲不振や嘔吐などがみられ始めたときは、すでに腎臓の機能が悪くなり始めているということです。このように、慢性腎臓病は腎臓の機能が低下し始めてもなかなか臨床症状を示さず、静かに進行することから、“サイレントキラー”とも呼ばれる病気です。

しかし、飲水量の変化や定期的な尿検査によって、血液検査で異常が出る前にその予兆をつかむことができます。少しでも異常かなと感じたならば動物病院に相談してみてください。早期診断と早期からの適切な治療によって、大切なねこちゃんの命を守ることができます。

担当医から _____ ちゃんの飼い主様へ